ロシアによるウクライナ侵略の状況（東部ドンバス正面等）（2022年7月26日時点）

- 現在、露軍は、**「ウ」東部ドネツク州における占領地拡大を企図し攻撃を継続するも戦果は限定的である模様**
- 「ウ」南部においては、「ウ」軍が**各地の露軍の活動拠点を攻撃**するとともに、**領土の奪還に向けた攻勢を継続中の模様**

7月23日、「ウ」軍は、**露軍が「カリブル」巡航ミサイルにより、オデーサ商業港を攻撃した**と発表。攻撃は、同22日、イスタンブールにおいて国連、トルコ、ウクライナ及びロシアが、ウクライナからの海路による穀物輸出に関し合意した直後に実施された。

7月24日、露国営通信は、**オデーサ港への攻撃を認め**、ドックに所在していた艦艇及び米が供与したハープーン対艦ミサイルを破壊したと主張（英国防省は、露の攻撃に関し、**露の主張する攻撃目標が存在していたことを示すものはないと指摘**し、露は対艦ミサイルを脅威視している可能性が高いと分析）

7月26日、「ウ」軍は、**露軍がミコライウ港を攻撃した**と発表。ミコライウ港は、穀物及び植物油の輸出港として重要。

7月20日及び23日の「ウ」国営通信報道によれば、「ウ」軍は、ドニプロ川のアントニウカ橋及びその支流インフレツ川のダルイウカ橋を攻撃。フラニ・ヘルソン州議は、「ウ」軍がヘルソン方面の**露軍部隊に対する補給を遮断する作戦の一環と指摘**

7月26日夕の「ウ」軍参謀本部発表によれば、**露軍はドネツク州スロヴィヤンスク、クラマトルスク、バフムート等において露軍は火砲及び多連装ロケットによる攻撃を継続**

7月26日、「ウ」国営通信は、メリトポリ市長の話として、**メリトポリを経由してヘルソン方面へ露軍が地上戦力を増派**していると報道。